

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業に係る事業評価【検証シート】

事業年度	令和6年度
検証実施	令和7年度

	A	B	C	D			E		F		G	
	交付対象事業の名称	交付金の種類	事業実績額 単位:円	本事業における重要評価指数(KPI) (R6年度末)			本事業終了後における実績値(R6年度末)		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	実績値	a 事業効果	b 事業の評価	c 外部有識者からの意見	d 今後の方針	e 今後の方針の理由
1	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト (第55回地域再生計画認定)	地方創生推進交付金	35,640,200	指標①-1 地域みらい留学生徒数	12	人	12	①	①	大変良い事業である。川口高校は、今後も様々な場面で地域との関わり合いを大切にしていきたい。事業は、KPI達成に有効であったと評価できる。	①	令和6年度で交付金を活用した事業は終了となった。地域みらい留学の生徒数もほぼ目標を達成しており、高校へのふるさと納税者数も増加している。本事業を評価して更なるブラッシュアップし、さらに川口高校を卒業した生徒とも積極的に関係を保ち、今後の人材育成につながるような事業の強化につなげたい。
				指標①-2 卒業後も地元に関わった大学生数	2	人	2	①				
				指標①-3 高校へのふるさと納税応援者数	12	人	61	①				
				指標② 地域みらい留学フェスタ参加者数	70	人	74	①				
				指標③ 地域課題解決大会参加者数	6	人	5	②				
				指標④ 共学共創ネットワーク参加自治体・学校数	2	団体	2	①				

(E-a)
①地方創生に非常に効果的であった。(全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られた場合)
②地方創生に相当程度効果があった。(一部のKPIが目標に達しなかったものの、概ね成果が得られたと見なすことができる場合)
③地方創生に効果があった。(KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなすことができる場合)
④地方創生に対して効果がなかった。(KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言いがたい場合)

(F-b) ①地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ②地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	(G-d) ①事業の継続 (計画どおりに事業を継続する) ②事業の発展 (事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる) ③事業の改善 (事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行	④事業の中止 (継続的な事業実施を予定していたが中止する) ⑤事業の終了 (当初予定どおり事業を終了する)
---	---	--